

自分もみんなも 明るく うれしく よかったね

第138号

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/>

メール chou@ac.city.myoko.niigata.jp

平成23年9月15日

「釜石の奇跡」から学ぶ防災教育

校長 小林 啓一

約40日の夏休みを終え、子どもたちは元気よく2学期の学校生活を送っています。夏休みの間、ラジオ体操や町内行事、市の行事などで見守っていただき、ありがとうございました。

2学期は文化祭など校内外の行事がたくさんあります。充実した学期になるよう全職員が力を尽くしますので、一層の御支援御協力をお願いいたします。

さて、東日本大震災では、未曾有の津波で多くの方が亡くなられ、行方不明の方も大勢おられます。その中で、「釜石の奇跡」と呼ばれる子どもたちの避難行動が注目されています。

岩手県釜石市の沿岸部にある9つの小中学校の避難率はほぼ100%でした。その避難行動を調査したところ、回答者1512人（回答率94.9%）のほぼ全員が、気象庁や行政の災害情報有待たずに地震直後に避難を開始していたことが、群馬大学の片田敏孝教授（災害社会工学）らの分析で分かりました。

避難を開始した場所は、学校、自宅など様々でしたが、ほぼ全員が「自分の判断や教師の指示などにより地震の揺れがおさまった直後、すぐに避難を開始した」と回答しています。さらに、地震直後に避難を開始したことで時間的余裕が生じたことから、「避難を済む祖父母や父母を説得し避難させた」「体の不自由な同級生をおぶって逃げた」「低学年の児童や幼稚園児の手を引いて逃げた」など、周囲の人の避難を誘導している様子も随所に見られたそうです。

津波常襲地域の釜石市では、以前から、津波による犠牲者ゼロを目指し、防災教育に取り組んできました。その中で徹底したのが「想定にとらわれるな」「最善を尽くせ」「率先し避難せよ」という「避難3原則」でした。今回の避難にその原則が生かされました。

釜石市では、小中学校での防災教育が市民全体に広がると考え、次のことを重視しています。

- ①津波の怖さだけでなく釜石の魅力も伝え、いざという時に津波から生き延びるために知恵を付けることが、この地で住むための『お作法』であるという認識をもたせる。
- ②「津波が来るときは、てんでばらばらに避難せよ。」という『津波てんでんこ』の言い伝えを発展させ、「もし家族が別々の場所にいても、それぞれがちゃんと避難する」という信頼関係を築きながら、日ごろから避難方法などを相談しておく。
- ③中学生における防災教育では、「地域のために自分たちができることは何か」を考えさせ、「助けられる人」から「助ける人」へと、考え方を転換させる。

こうした取組を見ると、「釜石の奇跡」は決して奇跡でなく、家庭や地域と連携した徹底した防災教育の積み重ねの成果であることがよく分ります。

妙高市でも、市や各町内、青年会議所などのみなさんによる防災の取組が進んできています。学校では、家庭や地域、市などの関係機関と連携して、「自ら判断して行動する力」の育成を重視した防災教育や避難訓練などに力を入れていきたいと思います。

1学期の学校評価の結果と今後の取組

学校評価の役割

学校では、各種調査の結果や児童や保護者のアンケート結果、保護者や地域の方から寄せられた御意見や御要望などを踏まえて、重点目標の達成状況や達成に向けた取組の適切さなどについて評価し、よりよい学校づくりができるように改善を図っています。また、こうした取組を学校関係者評価として学校評議員の皆様からも検討していただき、学校評価の結果と改善策などを皆様にお知らせし、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めます。

1学期の学校評価の結果と今後の取組を、重点目標に基づき、お知らせいたします。

仲間づくり 互いのよさや違いを認め、思いやりの心をもってかかわる子ども

【成果】

本年度、縦割り活動に力を入れてきました。その結果、違う学年の人と進んで行動したり声をかけたりしてみんなと楽しく活動することができるという子どもが多くなりました。そして、学校が楽しい、充実感があるという子どもも多くみられました。

<児童アンケートの結果>		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
児童集会や全校スポーツテストでは、進んで行動したり声をかけたりしてみんなと楽しく活動することができましたか。	92	
学校は楽しいですか。	95	
<保護者アンケートの結果>		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
お子さんは学校が楽しいと思っていると思いますか。	92	

また、人とのかかわり方を学び生活に生かす「全校S S E」の取組、差別をしない、許さない心を育てる人権教育、同和教育の取組が、思いやりの心をもってかかわる子どもの育成に効果をあげています。

【課題】

本年度も力を入れている「あいさつ」について、今年は、「あいさつ強調週間」に保護者の皆様から、あいさつロードに立ち、声をかけていただきました。そのため、よくなっている面もありますが、まだ「進んでいます。」「大きな声で言う。」などの課題があります。

<保護者アンケートの結果>		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
家族や近くの人にあいさつをしていますか。	72	

【今後の取組】

2学期はじめの指導、秋の「ALL 妙高」あいさつ運動（9月21日～30日）など、保護者や地域の皆様の御協力をいただきながら、あいさつ運動を推進していきます。

確かな学力 かかわりの中で、自分の考えを深め、表現できる子ども

【成果】

本年度は、学年に応じた学習ルールの定着や分かる授業づくり、話し合い活動や意見交流を多く取り入れることなどに力を入れてきました。右のアンケート結果のように、成果が表れてきています。学習意欲や総合の学習への取組もよい傾向が見られます。

始業前や夏休みの「パワーアップ教室」にも多くの子どもたちが参加しています。

<児童アンケートの結果>		肯定的評価の割合 (%)
項目	割合	
学年の学習のきまりを守りましたか。	91	
授業はよく分かりますか。	89	
自分の考えを書いたり話したりできましたか。	84	
好きな勉強やがんばっている勉強はありますか。	95	
課題について調べたり体験したりすることができましたか。	98	

【課題】

右の保護者アンケート結果から分かるように、「家の読書」「進んで学習」「話の聞き方」に課題があります。

【今後の取組】

読書については、学校ではおむね目指す読書量は達成しています。また、図書館ボランティア

さんの御協力もいただきながら、楽しい図書館へと足を向ける児童が多く見られます。今後は、御家庭で、テレビを消して本や新聞などを読む時間をつくるなど、各御家庭の工夫などを紹介し、御協力を得ていきたいと思います。

家庭学習については、各学年の発達段階に応じて宿題や自主勉強などの課題を出しています。学校や学年で共通するものと学級の特色を出すもののバランスを工夫したり、個人差に合わせたりするなどして、学習習慣を身に付けさせていきたいと思います。中・高学年の「家庭学習ノート」については、市全体で検討しながら、よりよいものにしていきたいと思います。

話の聞き方は、学習だけでなく生活全般にわたって大切なことですので、教職員が手本を示すなどして、指導に力を入れていきます。御家庭でも、おうちの方がお子さんの話を最後まで聞く、お子さんを見て聞くなど、大人が手本になっていただきたいと思います。

<保護者アンケートの結果> 肯定的評価の割合 (%)

項目	割合
家で読書する姿が見られますか。	51
言われなくても進んで学習していますか。	57
人の話をしっかりと聞きますか。	71

体づくりと生活習慣の確立　自らたくましく生きるための健康と体力を高める子ども

<児童アンケートの結果>

肯定的評価の割合 (%)

項目	割合
体育の授業では、自分のめあてをもって意欲的に取り組むことができましたか。	95
昼の放送の栄養の話を聞き、苦手な物もがんばって食べようと努力することができましたか。	94
寝る時刻（低学年は午後9時、中学年は9時30分、高学年は10時を、守ることができましたか。	73

<保護者アンケートの結果>

肯定的評価の割合 (%)

項目	割合
お子さんは、進んで体を動かしていますか。	87
お子さんは、テレビを見る時間やゲームをする時間を決めていますか。	53
お子さんは、学年に応じた時刻に寝ていますか。	71

【成果】

上のアンケート結果から分かるように、体育や運動に進んで取り組むことや栄養のことを考えて食事をすることについては、よい傾向が表れています。今後も、進んで体を鍛えようとする意欲を育てる授業づくりや運動環境づくりを工夫していきます。また、食育の指導を計画的に行い、「お弁当の日」の取組などを行いますので、御協力をお願いいたします。

【課題】

就寝時刻、テレビやゲームなどのメディアコントロールについては、かなり厳しい状況です。

【今後の取組】

学校では、早く寝ることの意義やメディアコントロールの必要性について、学年の発達段階に応じて、科学的な理解を図りながら、繰り返し指導したり、強調週間を設けたりしていきます。御家庭でも、お子さんの状況に応じて、ぜひ具体的な働きかけを行ってくださいようお願いいたします。

今年度の学校評議員を紹介します

○PTA会長 野口 敦 様
○吉木区長 丸山 久男 様
○民生・児童委員 深石 昭治 様

○石塚町内会長 松村 順三 様
○主任児童委員 長藤 恵一 様
○第一保育園長 横尾シズエ 様

平成23年度1回目の学校評議員会を7月に行いました。学校評議員の皆様からは、いろいろな機会に学校においていただき、学校運営や指導について様々な視点からご意見をいただいている。よろしくお願ひいたします。

お知らせ

東北大震災にかかり、この夏は日本全国で節電に取り組みました。市でも節電対策して様々な取組を行っています。その一つとして、新井中央小学校の体育館の水銀灯をLEDの照明に替える工事を8月31日から行いました。照明を替えることにより、消費電力を減らすことができるほか、明るさも改善することができました。



学校開放等、御迷惑をおかけしました。御協力ありがとうございました。

お願い

学校では、登校の安全確保のため7時50分から8時10分までの間に学校に入ることができるよう登校することにしています。念のため、児童玄関の解錠も7時45分になりますので、御理解御協力をお願いします。なお、課外活動の朝練習など、特別な場合は別に該当のお子さんに連絡します。

9月の主な予定

- 14日(水) クラブ活動
 - 15日(木) 避難訓練
 - 19日(月) PTA中央小カップ(グラウンド・体育館)
 - 21日(月) ALL妙高秋のあいさつ運動～30日
妙高市小学校親善陸上大会
 - 26日(月) 人権教育強調週間～30日まで
 - 27日(火) 教育実習最終日
 - 28日(水) 4限給食後放課
 - 29日(木) 学習参観(同和学習関連学習を公開します)
13:30～14:15 全学級で「同和教育関連学習」を公開
14:30～15:45 講演会「共に生きることこそ幸せ」
古河邦子 様
- ※多くの皆様の御来校をお願いします。

秋のあいさつ運動が始まります。よろしくお願いします！

